

★★ ‘星空舞’栽培において

畜産糞堆肥施用が可能となりました！

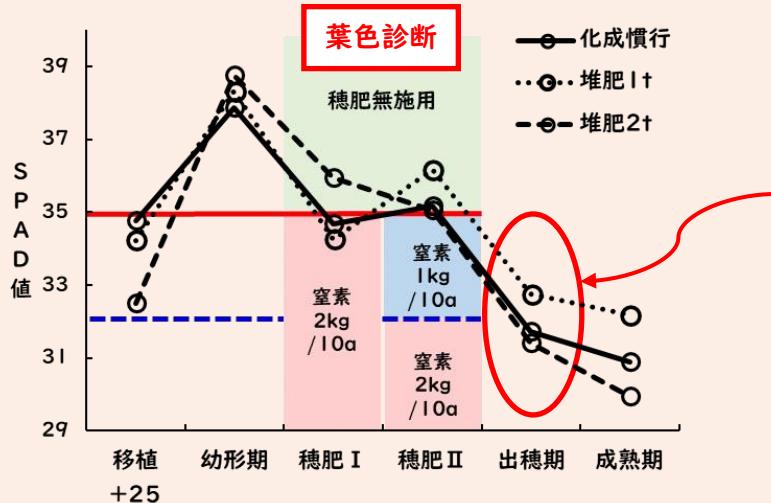
～夏の高温対策・土づくりに畜産糞堆肥を活用しましょう～

概要

★ ‘星空舞’において牛糞堆肥を施用する場合、**施用量2t/10a**までであれば、慣行栽培と同等の肥培管理により収量・品質の確保が可能である。

★ ただし、鶏・豚・牛糞混合堆肥など速効性窒素が多く含まれている堆肥を春に施用する場合、基肥窒素量の削減を検討する。

春施用時の「堆肥施用量」



葉色診断に応じた
穂肥の施用により、
出穂期の葉色を
制御できているね！



図1 春施用の牛糞堆肥施用量の違いが葉色に及ぼす影響

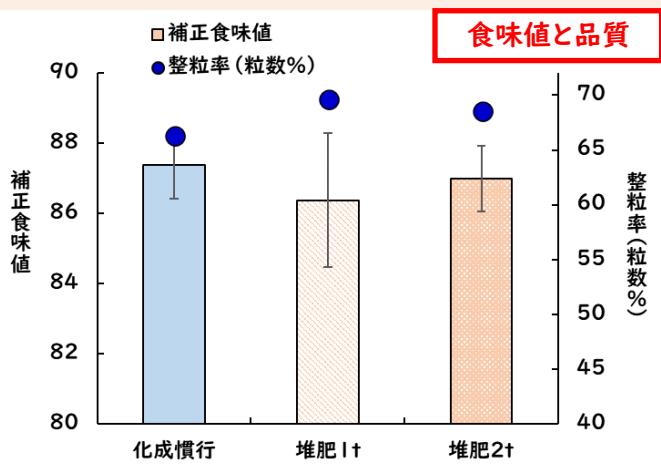


図2 牛糞堆肥施用量と食味値・品質の関係

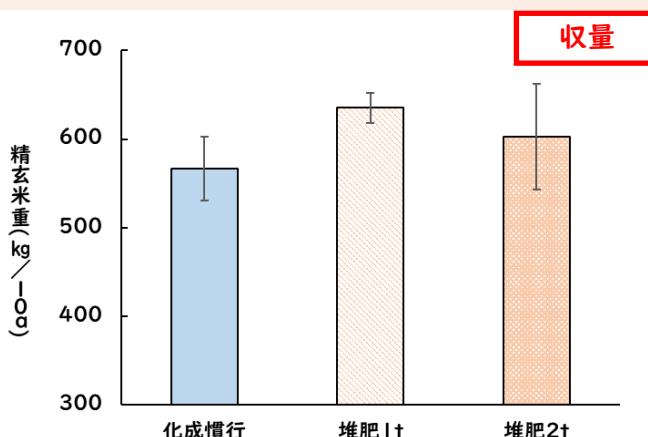
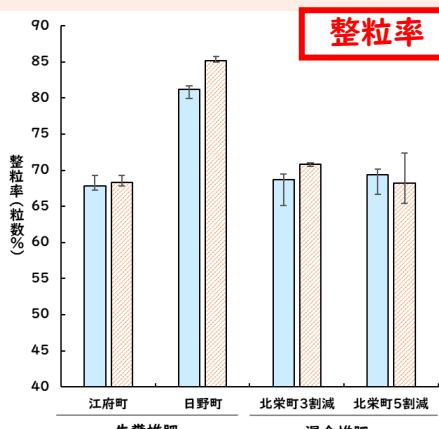
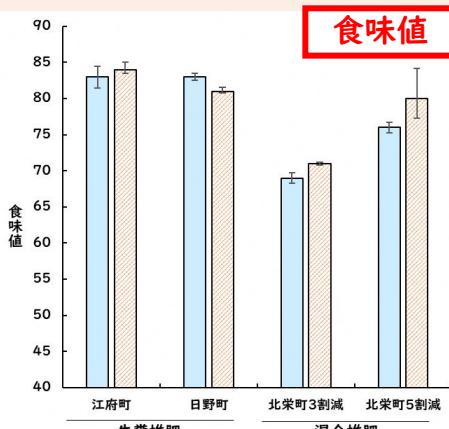
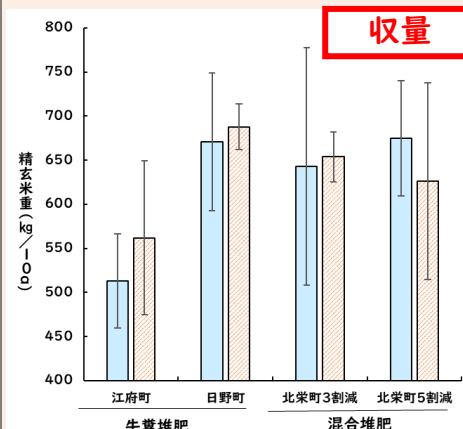


図2 牛糞堆肥施用量の違いが精玄米重に及ぼす影響

●施用量2t/10aまでであれば、慣行的な肥培管理で
→化成慣行栽培と同等の収量・食味値・品質を確保可能。

現地実証(堆肥の春施用)

□対照 □堆肥
(化成肥料のみ) (1~2t/10a)



- 牛糞堆肥施用時→慣行的な肥培管理で収量・食味値・品質を確保。
- 速効性窒素が多く含まれている、牛糞を主原料とする混合堆肥
→基肥窒素量を3~5割削減することで、収量・食味値・品質を確保。

現地実証(堆肥の秋施用)

表1 堆肥秋施用時(1~2t/10a)の収量・食味値・整粒率の星空舞目標値との比較

試験場所	精玄米重 (kg/10a)	食味値	整粒率 (粒数%)
江府町慣行	613	87	75.7
江府町特栽	636	86	79.8
三朝町	568	86	71.6
日南町	648	87	83.2
目標値	500以上	80以上	70以上

堆肥の秋施用と慣行的な肥培管理で収量・食味値・品質、すべての目標値を達成しているね！



共通注釈

- 図中のバーは標準偏差を示す。t検定を行ったが、有意差は認められなかった。(有意差無しと記載)
- 精玄米重および食味値は水分15%換算で示した。
- 堆肥の春施用を行った北栄町ほ場では、堆肥中窒素濃度が高いことを考慮し、堆肥区の基肥窒素量を削減した。(N施用量:北栄町3割減2.1kg/10a、北栄町5割減1.5kg/10a)
- その他のほ場における肥培管理は現地慣行とした。

利用上の留意点

- 牛糞堆肥は必ず成分分析結果を把握し、腐熟の進んだものを使用すること。
- 牛糞堆肥に、豚糞、鶏糞等が混合されているなど、一般的な牛糞堆肥以上の速効性窒素の溶出が見込まれる場合は、お近くの普及指導機関にご相談のうえ、基肥窒素施用量の削減を検討すること。
- 2024年に鳥取県東部1ほ場、中部3ほ場、西部4ほ場で試験した結果である。